

12月11日

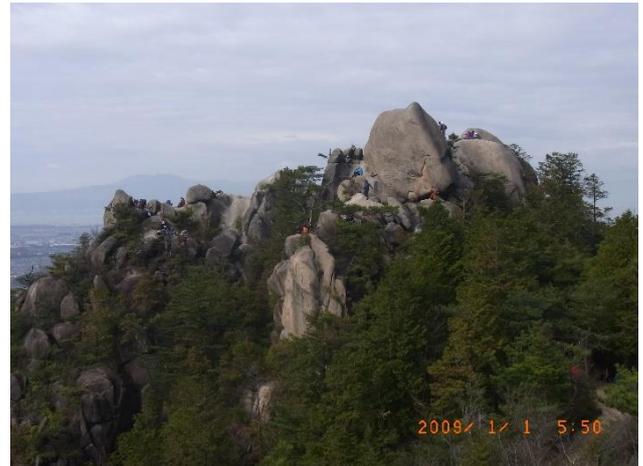
鶏冠（とさか）山・竜王山

佐々木康治

山名	金勝（こんぜ）アルプス：鶏冠山(490.9m) 竜王山(604.7m)		山行名	例会																																
ルート	駐車場～落ヶ滝～鶏冠山～天狗岩～竜王山～狛坂摩崖仏～駐車場																																			
山行日	2021年12月11日（土）	天候	晴れ																																	
参加者	L:佐々木 Sub:廣瀬 西川洋 永井 木田 上杉 蒲田 高橋 伊藤多 幾田 日野 大林 上田 倉光 河野（男5 女10 計15名）																																			
ルート 概略図	 <p>コースタイム</p> <table border="1"> <tr> <td>JR京田辺駅 発</td> <td>7:30</td> <td>竜王山 着</td> <td>13:04</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>竜王山 発</td> <td>13:20</td> </tr> <tr> <td>山麓駐車場 着</td> <td>8:40</td> <td>狛坂摩崖仏 着</td> <td>14:00</td> </tr> <tr> <td>山麓駐車場 発</td> <td>9:00</td> <td>狛坂摩崖仏 発</td> <td>14:15</td> </tr> <tr> <td>鶏冠山 着</td> <td>10:37</td> <td>山麓駐車場 着</td> <td>15:26</td> </tr> <tr> <td>鶏冠山 発</td> <td>10:45</td> <td>山麓駐車場 発</td> <td>15:45</td> </tr> <tr> <td>天狗岩 (lunch) 着</td> <td>11:50</td> <td>JR京田辺駅 着</td> <td>16:40</td> </tr> <tr> <td>天狗岩 (lunch) 発</td> <td>12:25</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				JR京田辺駅 発	7:30	竜王山 着	13:04			竜王山 発	13:20	山麓駐車場 着	8:40	狛坂摩崖仏 着	14:00	山麓駐車場 発	9:00	狛坂摩崖仏 発	14:15	鶏冠山 着	10:37	山麓駐車場 着	15:26	鶏冠山 発	10:45	山麓駐車場 発	15:45	天狗岩 (lunch) 着	11:50	JR京田辺駅 着	16:40	天狗岩 (lunch) 発	12:25		
JR京田辺駅 発	7:30	竜王山 着	13:04																																	
		竜王山 発	13:20																																	
山麓駐車場 着	8:40	狛坂摩崖仏 着	14:00																																	
山麓駐車場 発	9:00	狛坂摩崖仏 発	14:15																																	
鶏冠山 着	10:37	山麓駐車場 着	15:26																																	
鶏冠山 発	10:45	山麓駐車場 発	15:45																																	
天狗岩 (lunch) 着	11:50	JR京田辺駅 着	16:40																																	
天狗岩 (lunch) 発	12:25																																			
<p>初冬にもかかわらず暖かい登山日和、丑年山行の有終の美を飾ろうと男5女10の京田辺アルピニストがJR京田辺駅に早朝集合。一般道を利用、土曜ということもありスイスイと約70分で山麓の駐車場に到着、もう既に20数台もの車、多数の登山客が山歩きを楽しもうと意気軒昂。</p> <p>落ヶ滝までは40分ほど、岩壁に細長い滝（約20m）が流れ落ち「キレイ、キレイ」との声があがる。山道は登山客の行きかいで混雑、譲ったり譲られたりを繰り返す。鶏冠山(491m)までは急傾斜のゴツゴツ道、フーフーいいながら頂上に達すると木の間越しに栗東の競走馬トレーニングセンターが見える。北峰縦走路が金勝アルプスのハイライト、御在所岳、湖南アルプスを凌駕する大規模な巨岩・奇岩のパノラマが展開。汗ばむほどの陽気、フィックスロープに助けられながらの巨岩の上り下りがスリリング。昨今は山ガールを多く見かけ山が華やいで見える。天狗岩で昼食、近江富士「三上山」の秀麗な山容を鳥瞰、巨岩群上の人々の群れは動物園の猿ヶ島のような。30分のランチ休憩はアツという間に過ぎ「忙しすぎる」と抗議の声。金勝の最高峰「竜王山(605m)」には八大龍王の祠、水分（みくまり）神社の石碑、ここが分水嶺となっている。先ほど登った鶏冠山がはるか彼方に…人間の足はなかなか馬鹿にならない。1週間後の12/19(日)にはトレラン(trail running)大会がこの山地であるので、練習のため軽装で悪路を駆け抜けていく命知らずの男女にはただただ畏敬の念。日没が16:45と1年で最も早い時期、健脚部隊は15:30前に余裕をもって駐車場に無事到着、京田辺にもまだ明るいうちに帰着。大林・西川ペアの頬のおちるスナック、永井・木田・西川運転手達の気苦労、廣瀬さんの企画・先導など皆さんの協力に感謝。</p>																																				
ヒヤリハット なし																																				



鶏冠山山頂(491m) 10:37



天狗岩 金勝アルプスのハイライト 11:50  
人間の姿は小粒：動物園の猿ヶ島のように



摩崖仏前で暫しの休憩：14:00



狛坂摩崖仏 高さ 6.3m 幅 4.5m の岩に如来坐像

### 感想

倉光 展子

宇治市から、宇治田原、車はどんどん進んで滋賀県に入る。気持ちがスーと落ち着いてくる。そんなにかわらないのになぜか気分が変わる。今日の山行は期待が大きかった。その割には何の前調べもしていない。ただ見て、感じるだけである。上桐生から林道を歩き、鶏冠山へ。木が茂っていて、景観の邪魔をしていたが、その隙間から見える近江富士、琵琶湖、広大な平野、湖南の山々、もう少しゆっくり見たかった。すぐに同じ道を縦走路の鞍部まで下りて、次は竜王山へ。なぜか秋の紅葉よりも木々や草の鮮やかな緑に心魅かれた。岩塊を露出させた山々の姿にまず驚いた。次々に現れる奇岩、巨岩にはただただ驚きばかりである。地球のどのような時代に、どのようにしてできたのか、知りたいと思った。又狛坂摩崖仏三尊像はじめ、あちこちに祭られている仏像は素晴らしかった。里の人々と山のつながり（歴史）にも興味を持った。もう少し勉強して、もう一度来たい、夫にも見せたい、と思ったが、帰って話すと、夫曰く「あんたの中国滞在中、もう行ったよ」と。しかしいつか実現したいと思っている。

### 一口感想

伊藤多恵子

インディアン・サマーの空は青い。  
広葉樹の落葉した尾根は明るい。  
心のこもったおやつは美味しい。  
人も時もはかないけれど、その一日をいつくしむ。